

## すべての要介護者に

### 障害者控除を!

所得税や市民税の申告時期を迎えています。

障害者控除は、身体や精神に障害のある方が税金を軽減できる制度で、多くは障害者手帳などの有無で判断されています。

しかし、障害者手帳を持っていない人も

☆65歳以上で要介護認定を受けている本人。

☆扶養親族に認定者がいる。

場合に、市町村長が認めれば所得税・市県民税の障害者控除が受けられます。

この制度については意外と知られていません。

障害者控除対象者認定書の発行です。市町村によって申請により発行する、対象者に自動的に発行とまちまちです。(皆野町は申請により)

これによって、重度の障害がある特別障害者は40万円、他の障害者は27万円の控除が受けられます。

(常山知子)

## (十二) 飯塚千太郎について

なお、飯塚千太郎について二つのことを付け加えたいと思います。

一月五日、粥仁田峠で官兵隊に敗れた落合寅市と大滝の二名は、上三沢

(広町)へ逃げて来ると、ある婦人言うに「皆野へ行くというが皆野は憲兵だけで貴殿たちの仲間は一人もいない」と聞く。そこで、尾ノ田峠を超え

栃谷の「大道」まで行くと抜刀した飯塚道場の門人二人に遭遇した。大滝の

二人は逃げたが、寅市は窮してしまふ。

寅市は「名乗り」を求め、咄嗟に自分

は飯塚道場の門人某の息子だと名乗る。門人は「同じ門人通しては戦うことできない」ということで、寅市は飯塚道場に「連行」されました。

寅市は千太郎に面会し、事のいきさつを話し、二階に上がり酒肴の馳走に

与りました。千太郎は、ほとぼりが納まるまで寅市を匿い、寅市は約一週間滞在後、土佐の板垣退助邸に向けて長途旅立ちました(落合寅市「綸旨大赦義挙寅市経歴」)。

一月二日午後、困民軍は大宮郷を席卷、官公署を破壊、郡役所を本陣にし、高利貸宅を焼き討ちしました。この夜、総理・田代栄助の「行方不明事件」が起こります。二時間ほどの時間

だったようですが、困民軍本営から肝心の総理がいなくなってしまったのです。菊池貫平・加藤織平・井上伝蔵・井出為吉の幹部は、田代は軍資金を持ち逃げしたと判断しました。

ところが、栄助は「秩父郡内居住の撃剣師匠」を連れて帰って来たのです(木戸為三「尋問調書」)。同調書中、「注記」に「是ハ井出・菊池等ノ先生ノ由」とあります。

栄助からすれば、蜂起当日陸軍測量技師・土木技師に困民軍の指揮を求めたのと同様「撃剣家」を説得したと見られます。

一月三日夕方、下小川橋陣地に、秩父郡山田村の撃剣家・加藤某を先頭に

「両三人帯刀、竹槍を持つ六十三人、続いて竹槍八十五人」

が来たので夕食を供した(小柏常次郎「尋問証書」とあり、「加藤某」

に注記「是ハ菊池貫平ノ師匠ナル由」とあります。加藤と言え、横瀬村根古屋の気楽

## 皆野町の秩父事件⑱

流柔術「加藤道場」を思い浮かべますが、この二日と三日の撃剣家は同一人物だと思えます。

「撃剣家」は面識のない小柏常次郎に他村名を騙り偽名を使った可能性があります。ありますし、「井出為吉・菊池貫平ノ師匠ノ由」の注記は、北相木村の門人に

関連付けたものと理解できること、および、飯塚家の伝承(千太郎は困民党総理に推されたが、断った)、高野壽夫『秩父事件―子孫からの証言』から考

えると、「撃剣師匠」の正体は飯塚千太郎だった可能性があります。

飯塚家には、神道無念流関係文書・門人名簿、落合寅市「書」が保管されています。生前、寅市は千太郎命日に

彼岸には欠かさず同家を訪れたそうです。

## 新米議員のひとりごと

常山知子

晴れの天気が続かなくなり、それは春が近くなっている証しだ・・・

そんな二月の穏やかに晴れた日曜日(宝登山) ロウバイハイキングがありました。発起人は地域の民生委員さん。交流と親睦を深め運動不足を解消しようという計画。

去年は参加できなかったのですが、今年こそ!と近所の人と一緒に参加しました。

宝登山にゴルフ場ができる前は、国神地域から登るコースがいくつもあつたようです。今回もゴルフ場へ行く途中から昔の山道を歩きました。かなりの急登です。

お孫さんを連れて登る人、親子連れのグループ、みんながんばりました。

地域のつながりが少しずつ薄らぐなかで、こうした催しがとても大切だと思います。

何度も下見をして計画を立ててくださった皆さんに感謝です。ロウバイの花も最高でした。



飯塚道場跡「摩利支天」碑  
(定峰。書は三沢の野沢寛)